

未来投資会議（第5回）後の  
石原経済再生担当大臣記者会見要旨

- 日 時 : 平成29年2月16日（木）18:10～18:15
- 場 所 : 中央合同庁舎8号館1階S101・103 会見室

## 1. 冒頭発言

第5回「未来投資会議」の概要を申し上げます。

本日は、「第4次産業革命の検討課題」、「自動走行による移動革命」について議論しました。

まず、民間議員から御提案がありました。

竹中議員から、ビックデータの活用、レギュラトリーサンドボックス、リカレント教育、大学資産の活用を進めるべきこと。

金丸議員から、IT力の強化に向けて、個人を支援する形で、リカレント教育を抜本拡充すべきこと。

南場議員から、自動走行について、遠隔制御による自動走行の実証や事業化に必要な制度を整備すべき。強力な司令塔で政府も積極的に官民で対話・協力すべきことが重要。これは総理からも2020年までに関係省庁はしっかりやるようにと指示がありました。

次に、自動走行に関係する閣僚から発言がありました。世耕経済産業大臣、鶴保IT担当大臣、石井国交大臣、松本国家公安委員長から、今回とりまとめられた工程表にのっとり、具体的な担当部分につき、しっかり取り組むと、それぞれの大臣から前向きな発言がありました。

その後、総理から発言がございました。詳細は、後ほど事務方から報告させます。

本日の会議のポイントについて、私から以上です。

## 2. 質疑応答

（問）本日、自動運転の実現に向けた工程表が示されましたが、政府としては法整備も含めてやっていく、民間も研究開発や実証実験などをやっていくとのことですが、実現に向けた課題は何だと思われますか。

（答）やはり関係大臣が皆発言していたように、道交法の問題や、誰が責任を取るのかという問題、いろいろ法令をいじらなければならないところもあるのかなと思います。完全無人化はジュネーブ協定まで行きますから、その前段階の自動運転でありますけれども、見た人は最初びっくりすると思うんですね。特に過疎地などで買い物に行

けない方々、病院に行けないような方々のところでも、すでに実証実験をやりたいという手が数十件挙がっているので、これを絞ってやっていき、実現していくことだと思います。